

クロースアップ close up

など受け持つ担当者なども充てて対応するといったケースも見られ、そのソフトした人員が受け持っていた請求送付をはじめとした郵便発送を自動化するといった動きもあるという。また

の担当者も発送の手助が有効となるという。進展しているといし、新規開拓ではなく、ロッカーなどの展開もけするようになっていそこでピツニーボウズ。顧客には数多くの顧客のロイヤルカスタム。計画。オフィスや病院る。飲食料品の通販をジャパンのセンディン Eメールが送信される マ化に威力を発揮す などで職員が通販をは行う別の企業は、毎月 グ・テクノロジー・ソ が、多過ぎて埋もれてる」(橋原本部長)と じめとした各種の荷物を1万通の請求書発送が リューションズ営業本 しまうという事態もあ いう。興味のあるウエ を非対面で受け取る必要になり、締め日直 部統括本部の橋原幸弘 る。そこで、DMの有 のコンテンツは数多 とを可能にするもの。後にまとめて1日だけ 統括本部長は「請求書 効に機能するようだ。 く、一方でタイムリー マンションなど宅配口で作業することにして が1000通あれば機 紙媒体離れが叫ばれる でパソコンライズなD ッカーは普及している

ズン ボウズ 一 ニ ピ コロナ禍の業務負荷軽減

請求書送付に加え今後は荷物も

業にとつて郵便の封入、そこで作業を機械化した方がよい」とが、「DM通数は減少引き寄せることが可能と野でのオフィス内におを背景にした請求書送、封かんなどの機器・システムが今後とも必要になると見ている。また、通販は非対面DMのクリエイティブにはDMは有効な手段けるソリューションも付をはじめとした通販・自動化して対応している。一方で、見る。LTVの最大化けるソリューションも減を可能にする機器・要になる。手作業で多くの人員 という要件を商品の購などにかけるコストは になるようだ。の記載、個数管理、配システムで引き合いが ある通販企業では、で行うとなると、一時 入やデリバリーなどのアップしている。顧客 ピツニーボウズジャ送料金管理といった面増えている。通販では 受注が大幅に増えて、的に「密」な状態にな 場面で加速している。 とつながらる接点として パンは、郵便関連機器での効率化のためのシ商品発送の部門で人手 人員が足りなくなり商 ってしまうことを防ぐ 一方でアナログとデジ 重要なものであるこ ・システムのほか、今 システムなどを投入してが足りず、請求書送付 品発送部門以外の部署 上でも機械化・自動 化タルの融合もここに来て により顧客を さらに同社は荷物分 サイト)へ 可能にする。